

生涯学習県民大学講座 in 南種子町



～地域のこと・子育てのこと「いっしょに考えましょう!」～



令和5年

10月21日(土)

場 所：南種子町研修センター2階大会議室

参加者：講座1・34名，講座2・21名

主 催：かごしま県民大学中央センター・南種子町教育委員会

講座1

子どもはのびのび育てよう!～アドラーに学ぶ～

10:30～12:00 (受付 10:00～, 開講式 10:20～)

講師：鹿児島純心女子短期大学生活学科 教授 河野 一典 氏

子育てにおいて、「怒る」「叱る」「褒める」ことの意味を私たち大人は正確に理解し、その子に合った子育てや家庭教育を行うことが大切です。

今回は、子どもの世界の素晴らしさに気づき、日々の声掛けの中で子どもと良い関係を築くために役立つ内容をお話いただきました。



講座2

南種子7つのブランド物語～出会いと感動が地域を興す～

13:30～15:00 (受付 13:00～, 開講式 13:20～)

講師：有限会社オフィスフィールドノート 代表取締役 砂田 光紀 氏

旅人にとって南種子町は、とても面白く謎めている場所です。一万年前から現代まで、ドラマティックな出会いや出来事があり、黒潮がもたらした文物や本土からやって来た伝承、技術が生きています。

本講座では、南種子町や種子島にまつわるこうした事柄を「素材」と捉え、どう活用すれば豊かな未来に繋ぐことができるのかを考えました。



《 講師 紹介 》

講座1



鹿児島純心女子短期大学
生活学科こども学専攻 教授

この かずのり
河野 一典 氏

鹿児島に赴任して26年。専門のアウグスティヌスを中心に西洋古代・中世哲学や倫理学の教育、研究とともにかごしま学を担当するなど鹿児島純心女子短期大学の生涯学習や子育て支援等の地域貢献活動全般にかかわる江角学びの交流センターの業務に従事している。2014年に英語科からこども学専攻に所属を移動し子育ての現場を見ることが多くなるとともに、アドラー心理学に関心を持つようになった。人間形成にとって幼児教育期がもっとも大切な時期であると痛感し、家庭教育や教育現場の改善の余地を追及している。

■ 略歴

- ・1960年 鳥取市生まれ
- ・1983年 高知大学人文学部文学科卒業
- ・1988年 京都大学大学院文学研究科修士課程哲学専攻修了
- ・1992年 京都大学大学院文学研究科後期博士課程満期退学
- ・1998年 鹿児島純心女子短期大学英語科専任講師
- ・2006年 同教授 倫理学・人間学・こども学概説等を担当 現在に至る

■ 役職

- ・中世哲学会理事

■ 著書

- ・『新プラトン主義を学ぶ人のために』
- ・「アウグスティヌス、新プラトン主義とキリスト教創造論」(共著、世界思想社、2014) 他

■ 翻訳

- ・アウグスティヌス著作集20/II『詩編注解(6)』

講座2



(有)オフィスフィールドノート
代表取締役

すなだ こうき
砂田 光紀 氏

全国の博物館や公共施設等まちづくりの統括プロデュース、再生プランを手がける。地域の魅力を発掘し、磨き上げる手法でデザイン、設計、運営プランまでを総合的に遂行する。

世界遺産に登録された旧集成館機械工場「尚古集成館」、
「薩摩藩英国留学生記念館」等のミュージアム設計・製作に携わる。新宿・四谷の廃校を利用して総合プロデュースした「東京おもちゃ美術館」は年間15万人を集客。熊本県五木村のリゾート施設「溪流ヴィラITSUKI」や鹿児島市電 NexTram KIRIKO等が好評を博す。

種子島では、「たねがしま赤米館」や「月窓亭」の計画づくりや展示製作を行った。

■ 略歴

- ・1963年 鹿児島市生まれ
- ・鹿児島大学法文学部で考古・文化人類学を専攻。卒業後、鹿児島大学埋蔵文化財調査室に勤務。
- ・自治体にて博物館学芸員として勤務ののち、オフィスフィールドノートを設立。

■ 役職

- ・総務省地域力創造アドバイザー

■ 受賞歴

- ・第2回かごしま・人・まち・デザイン賞 都市デザイン部門大賞「薩摩藩英国留学生記念館」
- ・第4回かごしま・人・まち・デザイン賞 都市デザイン部門優秀賞「コシキテラス・てうちん浜や」